



ねぎとこんにゃく下仁田奨学金事業

金融機関と連携した教育制度の充実施策

下仁田町は過疎化・少子高齢化が進行し、児童生徒数が減少していることから、5校あった小学校を1校に、2校あった中学校を1校と学校統合を進めてきました。しかし、子ども達は充実した施設環境のもと「下仁田ねぎ」のように元気にすくすくと育っています。教育行政では少数だからこそ可能な手厚い教育施策を重点的に実施をしています。その中の一つとして「ねぎとこんにゃく下仁田奨学金事業」を創設しました。

町内の子ども達が誰でも均等に「学ぶ機会」を得ることができ、その就学の機会を経た子ども達が世界に通用する立派な社会人となっても帰ってきたい、という願いを込めて、在学期間中の利子全額補助すること、卒業後、町に帰ってきた際には「利子及び元金」を全額補助する「社会全体で子育てを応援する新しい形の奨学金制度」です。

この奨学金制度にCSJ洋動等として、ご賛同いただける企業様を募集しています。

高校生 **30,000円/毎月**
 大学生等 **50,000円/毎月**
 在校生(住所要件なし) **利息相当額を補助**
 卒業生(住所要件あり) **元利金相当額を補助**



制度について詳しくはこちら

奨学金申込者実績

内訳	平成29年度	平成30年度
高校生	30人	14人
大学生等	38人	8人
合計	68人	22人

平成30年度卒業生9名の内 **6名**が町内に定住

寄附金の使い道

皆様のあたたかいご支援は、寄附の翌年度に「ふるさと下仁田応援基金」「荒船風穴基金」「子育て応援基金」「ねぎとこんにゃく下仁田奨学金基金」の4つの基金に積み立てています。それらの基金から事業費を支出し、さまざまな事業を実施しています。

- 01 少子化対策事業
 - 02 まちづくり事業
 - 03 観光振興事業
 - 04 環境保全事業
 - 05 教育環境整備事業
 - 06 世界遺産「荒船風穴」の保全
- 寄附を申し込む際、6つのメニューからお選びいただけます
- 指定がない場合は「町長におまかせ」となります

平成30年度 寄附内訳

少子化対策事業	25,292,817円	1,282件
まちづくり事業	7,616,000円	412件
観光振興事業	4,281,000円	179件
環境保全事業	6,402,000円	383件
教育環境整備事業	4,269,000円	211件
世界遺産「荒船風穴」の保全	3,477,863円	218件
町長におまかせ(指定なし)	16,592,726円	1,091件

平成30年度寄附総額 **67,931,406円**

平成30年度活用報告

中学生11名をオーストラリア・ブリスベンへ派遣しました！
 国際感覚の獲得、英語能力の向上等につなりました。



寄附から **2,400,000円** 活用しました

一荒船風穴の維持・保存
 荒船風穴交通誘導準備業務(定点、温湿度観測業務)入場受付や史料内の草刈り業務に活用しました。



寄附から **4,971,000円** 活用しました



生活圏近傍の森林を整備しました！
 道路沿線森林伐採による日照改善や鳥獣被害防止緩衝帯対策等を目的に実施しました。

寄附から **6,800,000円** 活用しました

地域の拠点病院を維持
 下仁田南牧地域の拠点病院の運営費を支出しました。



寄附から **32,200,000円** 活用しました

令和元年度活用予定

不妊治療や無痛分娩に要する費用をサポートします！
 少子化対策事業

町の魅力を発信！人とまちをつなぐ冊子「おてんま」を発行します！

ふるさとへの愛着を感じる機会をつくり、下仁田町のファンづくりに取り組みます。



下仁田こんにゃく夏祭りの開催！
 各種団体と協力し祭りを開催。花火を打ち上げ、町を盛り上げます。

中学生20名をオーストラリア・ブリスベンへ派遣します！
 国際感覚の獲得、英語能力の向上等につながる機会を創出します。

教育環境整備事業